

れんごう中越地協

第737号 2012.1.11
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定 価 1部10円



連合中越地協「四役新春対談」

2012年の初めにあたり、重点課題・産別課題や地協運動等を語る

2012年元日は、雲の間から久しぶりに初日の出が顔を覗かせ穏やかに明けた。連合中越は、昨年同様厳しい雇用情勢・経済状況にある中、地協四役による「新春対談(通称・吹く念)」を1月4日(水)17時から開催。12年度の重点課題や産別課題、地協運動づくり等についておおいに語りあった。

◆矢島議長
新春対談は、連合中越の仕事初め。地協四役全員と事務局2名が勢ぞろいした。

◆羽賀副議長
新年明けましておめでとございます。今年について様々なメディアでマイナス指向的報道がある。大変さをあおることが常道のようなだ。一方、今年



◆小川副議長
円高の状況は昨年より厳しい。震災で電力



◆金内副議長
赤字問題が一番の課題だ。民間化されたが規制がかかっているのが現状だ。郵政改革法案が後回しになっている。これと付随して元



◆矢島議長
UIゼンセン同盟は110万組織だが、半分は流通業種関係だ。税と社会保障の一体改革にあるパートの厚生年金加入は企業負担を増やす。激変緩和を持たせないと、法改正で事業が成り立たなくな



◆田野副議長
悠久山での停電対応で遅れた。課題は震災と水害からの復旧復興だ。雇用・安全第一を



ただきたい。最後に、事務局から一言。LSCの相談は昨年と同傾向だ。それだけ世の中は深刻化している。今年、新たな業務が想定される。NP

世界のリーダーが変わる年でもある。こういう時は、良くしていこうというマインドが高まるから、景気・株価もよくなるという楽観的見方もある。日本は震災からの復興で需要喚起もある

◆横澤副議長
大阪がどうなるか注目している。どうも小泉構造改革と同様なこ

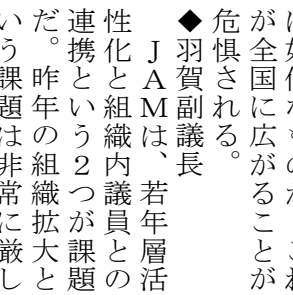
◆中村事務局次長
昨年、小学校1年生の35人以下学級閣議決定は非常に大きかった。今年早く2年生

◆金内副議長
赤字問題が一番の課題だ。民間化されたが規制がかかっているのが現状だ。郵政改革法案が後回しになっている。これと付随して元

◆田野副議長
悠久山での停電対応で遅れた。課題は震災と水害からの復旧復興だ。雇用・安全第一を

ただきたい。最後に、事務局から一言。LSCの相談は昨年と同傾向だ。それだけ世の中は深刻化している。今年、新たな業務が想定される。NP

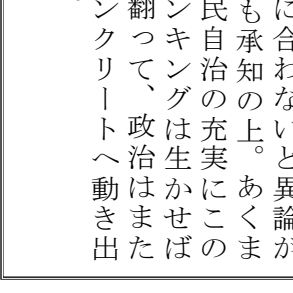
ただきたい。最後に、事務局から一言。LSCの相談は昨年と同傾向だ。それだけ世の中は深刻化している。今年、新たな業務が想定される。NP



◆中村事務局次長
昨年、小学校1年生の35人以下学級閣議決定は非常に大きかった。今年早く2年生

◆矢島議長
UIゼンセン同盟は110万組織だが、半分は流通業種関係だ。税と社会保障の一体改革にあるパートの厚生年金加入は企業負担を増やす。激変緩和を持たせないと、法改正で事業が成り立たなくな

◆田野副議長
悠久山での停電対応で遅れた。課題は震災と水害からの復旧復興だ。雇用・安全第一を



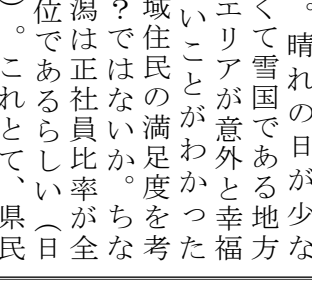
ただきたい。最後に、事務局から一言。LSCの相談は昨年と同傾向だ。それだけ世の中は深刻化している。今年、新たな業務が想定される。NP



◆中村事務局次長
昨年、小学校1年生の35人以下学級閣議決定は非常に大きかった。今年早く2年生

◆矢島議長
UIゼンセン同盟は110万組織だが、半分は流通業種関係だ。税と社会保障の一体改革にあるパートの厚生年金加入は企業負担を増やす。激変緩和を持たせないと、法改正で事業が成り立たなくな

◆田野副議長
悠久山での停電対応で遅れた。課題は震災と水害からの復旧復興だ。雇用・安全第一を



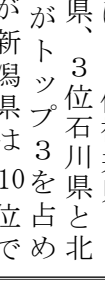
ただきたい。最後に、事務局から一言。LSCの相談は昨年と同傾向だ。それだけ世の中は深刻化している。今年、新たな業務が想定される。NP

とを言っている。大阪を構想など聞こえのいワンフリーズな主張

まで収束し、立ち上がるかが課題だ。春闘も昨年と同様な考え方にあるが、産別最賃引上げを要求していく。組織拡大には昨年より力を入れ、関連会社、グループに対応したい。13年の参議院選挙に向け、新たな候補者擁立の考えにある。

◆中村事務局次長
昨年、小学校1年生の35人以下学級閣議決定は非常に大きかった。今年早く2年生

◆田野副議長
悠久山での停電対応で遅れた。課題は震災と水害からの復旧復興だ。雇用・安全第一を

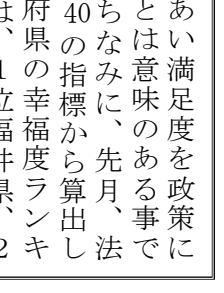


ただきたい。最後に、事務局から一言。LSCの相談は昨年と同傾向だ。それだけ世の中は深刻化している。今年、新たな業務が想定される。NP

を抑えることやタイの水害による影響がどこ

昨年、東日本大震災で、生き方や社会のあり方が問われた1年だった。経済的指標より国民の幸福度を重視するブータン国が注目を集めるなど世界的にも幸福度がブームになり、わが国でも住民幸福度を探

◆中村事務局次長
昨年、小学校1年生の35人以下学級閣議決定は非常に大きかった。今年早く2年生



ただきたい。最後に、事務局から一言。LSCの相談は昨年と同傾向だ。それだけ世の中は深刻化している。今年、新たな業務が想定される。NP

東蔵王2 <<No.65>>

議長 矢島良彦
のふれあい満足度を政策にする。これは意味のある事である。▼ちなみに、先月、法政大が40の指標から算出した都道府県の幸福度ランキングでは、1位福岡県、2位富山県、3位石川県と北陸3県がトップ3を占めた。わが新潟県は10位であった。晴れの日が少なく、寒くて雪国である地方の北陸エリアが意外と幸福度が高いことがわかった。地域住民の満足度を考えたならば、ではないか。ちなみに新潟は正社員比率が全国第2位であるらしい(日経新聞)。これとて、県民の実感に合わない。異論がある事も承知の上。あくまでも住民自治の充実にこの手のランキングは生かすべき。翻って、政治はまたまたコンクリートへ動き出すのか。

サラリーマン川柳 (太ったわ もともとあなたは 太ってる) (宝くじ はずれたとたん 無信仰) (朝バナナ 食べなきゃもつと 痩せたのに) (夢を持って 夢を持ったが 夢だった)

サラリーマン川柳 (マイク手にしぶしぶその内独演会) (エステ会初会合が食事会) (飯あるか少しあるわよ猫の分) (読めぬ文字「達筆ですわ」で片づける)



あけまして おめでとうございます

2012年 連合中越地協各支部 支部長挨拶



見附支部

支部長 岩淵 勝衛

新年明けましておめでとうございます。
見附地区支部長の岩淵です。
昨年も栽培したソバを用いて施設へのソバ慰問をおこないました。また、秋には東日本大震災で被災され見附市内に避難されている福島県南相馬市の方々と共にソバ刈り・試食交流会を開催しました。
本年は昨年以上に仲間作り、社会貢献を進めていきたいと思っております。今年もよろしくお祈りいたします。



栃尾支部

支部長 坂井 益雄

あけましておめでとうございます。
元栃尾支部支部長の坂井益雄です。
昨年12月9日栃尾支部総会を開催し、栃尾支部の組織を解散、連合中越に吸収合併となりました。これまでの間、各栃尾区内の労働組合員の皆様、連合中越の組織の皆様、運動へのご理解、ご協力に感謝いたします。栃尾市が長岡市と合併し、支部組織として活動できる間は支部活動をするとして、やってみましたが、2011年で解散となりました。やはり、組織がなくなるのは、寂しい感じがします。また、会議で役員の皆様と顔が合わせられないのは、残念でもあります。
2012年は連合中越の単組構成員として活動してまいりたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。



小千谷支部

支部長 小林 伸芳

明けましておめでとうございます。
新しく、小千谷支部長に選任された小林です。
昨年は、国内最大と言われる東日本大震災に県境地震、豪雨、円高、海外の経済不安、タイの水害と日本経済も大きな影響を受けた年と思っております。
私達は、震災の復興・再生に向け地域と共に連合運動を進めていかなければいけないと考えます。
3月末でおちやライフサポートセンターが閉鎖され長岡に統合されますが小千谷支部としては、今後も地域に見合った皆が参加できる運動を行っていきたく思います。



北魚沼支部

支部長 武藤 明

明けましておめでとうございます。
昨年は豪雪に始まり、地震、豪雨と多くの災害に見舞われた年でした。本年は災害からの復興の年となりますが、これらの財源や持続可能な社会を築くため、社会保障と税の一体改革など難題も乗り越えなければなりません。
新しい年が災害のない良い年となりますように、組合員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



南魚沼支部

支部長 五十嵐 勝

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年は東日本大震災、新潟福島豪雨災害と大変大きな災害に見舞われた一年でした。
私たちを取り巻く状況は一層厳しくなっていますが、こんな時だからこそ一致団結して頑張っていきたいと思います。
私たち南魚沼支部も精一杯取り組みます。
新しい年が皆さまにとって幸せ多き年となるよう心よりお祈り申し上げます。



十日町支部

支部長 山口 耕一郎

新年明けましておめでとうございます。
昨年は、豪雪、震災、豪雨と相次ぐ災害に見舞われた大変な一年でした。震災の支援にと連合新潟は街頭募金を取り組み、被災地の十日町市と津南町に義援金を届けていただきました。豪雨災害の際は、連合中越の皆さんからボランティア活動にいただきました。改めて連合に結集する皆さんの行動に敬意を表するとともに感謝を申し上げます。
「すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう！」のスローガンのもと、「地域に根ざした顔の見える運動」を十日町支部でも実践していきたく思います。
2012年が皆様にとって幸せ多き年となることをご祈念申し上げます。